

## 7 安全教育の評価

### 1 安全教育の評価の意義と方法

#### (1) 評価の意義と観点

安全教育において評価を行うことは、安全教育の目標がどの程度達成されたか、その状況を知るとともに、教育内容や方法における問題点を明らかにし、よりよい教育内容・方法を作り上げていく上で非常に重要である。

カリキュラム・マネジメントの一環として、安全教育において児童生徒等の意識の変容などの教育課程の実施状況に関する各種データの把握・分析を通じて、安全教育に関する取組状況を把握・検証し、その結果を教育課程の改善につなげていくことが求められている。

〔「生きる力」を育む学校での安全教育〕（平成31年3月 文部科学省）一部抜粋

安全教育を充実させていくためには、実施状況を適切に評価し、問題点を明らかにしていくことが重要である。そのためには、指導計画等と合わせて、評価の観点を定めておくことが大切である。

評価の観点としては、例えば、「指導計画」、「指導方法・指導過程」、「児童・生徒等への指導の成果」などの評価の観点を設定するなど、安全教育を総合的に捉えて評価できるように工夫することが重要である。

各学校においては、学校種別や学校周辺の地域の環境等、自校の実態に即して、評価の観点や具体的な項目を工夫していただきたい。参考として、「安全教育の改善につなげる評価チェックリスト例」を示す。

#### (2) 評価の方法

安全教育を総合的に捉えて評価していくためには、評価の観点とともに、評価の方法（対象や場面）を工夫することが大切である。

例えば、下表のように、児童・生徒等及び保護者や関係機関からの評価を得るようにするなど、多面的・多角的に安全教育の実施を捉えるように工夫したい。

自校における安全教育の評価を充実させ、指導計画等の改善を図るためにも、安全教育の評価の方法について各種会議等を通して教職員に共通理解できるようにしておくことが必要である。

評価者	評価の場面例	評価の方法例
児童・生徒等	○日常的・定期的な「安全指導」後 ○「安全学習」後	○日常の安全行動を振り返るワークシート ○安全に関して気が付いたことを交流するグループ活動
保護者	○安全教育に関する授業参観時 ○避難訓練等の行事の後 ○学期末、学年末の学校評価	○アンケート用紙 ○保護者会等の懇談
関係機関 (消防職員等)	○防災教育推進委員会（都立学校） ○避難訓練、防災訓練後	○アンケート用紙 ○行事後の講評懇談

## 2 安全教育の改善につなげる評価 チェックリスト例

指導計画の評価

指導方法や指導過程の評価

指導の成果の評価

内 容	
	全校的な指導体制が確立されているか、教職員間の連携がとれているか。
	安全管理との関連がとれているか。
	児童・生徒等の実態、地域の特性を反映しているか。
	保護者や地域機関の協力や理解が得られているか。
	日程や実施回数は適切か。
	指導内容や方法における課題を改善し、次年度の年間指導計画に位置付けているか。
	指導に必要な教材・教具、資料等が用意されているか。
	教職員の研修が組織的・計画的に実施されているか。
	指導のねらいが明確になっているか。ねらいが、「必ず指導する基本的事項」や目指す児童・生徒像を踏まえて設定されているか。
	児童・生徒等の実態、家庭や地域の実態に即して、適切で具体的な内容を取り上げているか。
	「安全学習」、「安全指導」との関連が図られ、指導の成果が一層高められるように工夫されているか。
	消防署や警察署等の関係機関の協力を得ているか。
	校内や地域の人材、資機材等が活用されているか。
	東京都教育委員会が作成・配布している教材等（P.108～）を効果的に活用しているか。
	（安全学習）自ら考え、判断することができる指導過程が設定されているか。
	（安全学習）日常生活における行動を振り返り、自己の課題に気付けるような場を設定しているか。
	（日常的な安全指導）季節や行事、児童・生徒等の実態等を踏まえた指導を考え、週ごとの指導計画に記入しているか。
	（日常的な安全指導）学年や学校で指導事例を蓄積・整理し、活用しているか。
	（定期的な安全指導）日常生活で具体的に実践できるよう設定しているか。
	（定期的な安全指導）訓練や実習など、体験的な活動を重視しているか。
	児童・生徒等は、日常生活における事件・事故・災害の現状、原因及び防止対策について、理解できたか。
	児童・生徒等は、現在及び将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく意思決定や行動選択ができるようになったか。
	児童・生徒等は、日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、的確に判断して安全に行動できるようになったか。
	児童・生徒等は、幼児、高齢者、障害のある人などほかの人の安全を考えて行動できるようになったか。
	児童・生徒等は、自他の生命を尊重し、安全な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全に進んで参加・協力できるようになったか。

学校における  
安全教育と  
プログラム安全  
教育で  
身に  
付ける  
力安全  
教育の  
3  
領域必ず  
指導  
する  
基本  
的事  
項安全  
教育  
の  
確  
実  
な  
実  
施  
の  
た  
め  
に安全  
教育  
の  
計  
画安全  
教育  
の  
評  
価安全  
教育  
の  
計  
画  
例

実践編

実践  
事例  
一  
覧生  
活  
安  
全  
に  
お  
け  
る  
実  
践  
事  
例交  
通  
安  
全  
に  
お  
け  
る  
実  
践  
事  
例災  
害  
安  
全  
に  
お  
け  
る  
実  
践  
事  
例一  
声  
事  
例  
(  
校  
種  
別)

資料編